

No. 11
68-11.28

教育學部斗争委員會

情書機関紙

大学当局は、学生の長期スト体制による政府・文部省の連携介入によつて、実質的にスト返却のための張り紙活動で済み出しだった。しかし、各学部毎六

計りつつも、六・一〇土塊選定を
絶対的前提として、ストライキを収拾
しようとするものであることを、はつ
かりと確認しなうではなかいか。

箇等は學長に旨意封して、「大衆國交」を要求する場として「利用する」と称し、彼等の主張する「全學協設立」の設置の確約を取れば、大學當局の策する「學校」のツクの半で、ストライキを收拾しようとしていることは、義理的である。

（註）天斗爭破壊　ストーリー「正義化」
「勝利」に就いては、以前の私の方針
は次のとおりである。千葉長・回答。
桓西久ら「七種自要素完全搭載」と即。

① 漢畫畫師上自漢畫圖
② M. D. 奈良公館
③ 6-10 土地建築木定自滿撤回
④ 築成坐面白紙撒回
⑤ 城被移取
推古皇帝

⑤ 本館封鎖料収支解説
⑥ 学生の懲戒に對し一括の処分も
行つゝ。

(7) 以上の理由を大衆圖文の席上で
文藝で確認し、蘭色者は責任を
取る。

所をござり、外部へ宣達との性格
場所もちつてある、といふ規定があ
ることである。オニに、全般性が付
く。26を期限として限度、解説、及大衆
国文を題材とする文書を要束したが、
それが粗古さ以外といたることである
。このような大學専門の越後大村し
て、われわれは、的外の隠れ意
志と力とをもつて反撃を加え、全
學科鏡の一環としてあつたのでと
いうことである。

教（理・英）私行部（民育系）の
あらゆるデマニギーと斗争を繰り返す
のが、生徒会の役のもと、競争委
員会として最後まで斗争に立ち入り

筑波移転斗争の全般的な運動路線を明確にせよ。最後の最終まで争い抜こう。
われわれは、筑波移転阻止争が、最終的な面倒なさしかかってはいるといふ

え、と二つこと、即ち學生のやう意志
と力不足であくまで裏表を眞似する